

1 教科について

国語

昨年度の課題

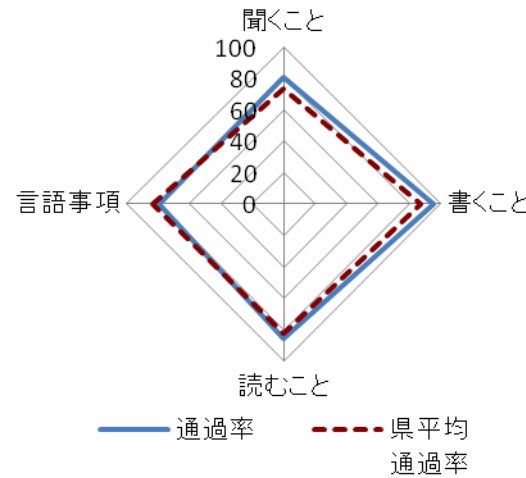
- 「言語事項」
  - ◎文の中における主語と述語との関係に注意する (16.7%)
  - ◇ローマ字で書く (53.3%) 読む (46.7%)
- 「書くこと」
  - ◎自分の考えを明確にしなが、段落構成に注意して書く (25.0%)
  - ◎書くことの収集・選択 (33.3%)
  - ◇目的や意図に応じて事象や意見を関係づけて書く (6.7%)
- 「読むこと」
  - ◎段落相互の関係を考え、文章を正しく読む (25.0%)

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

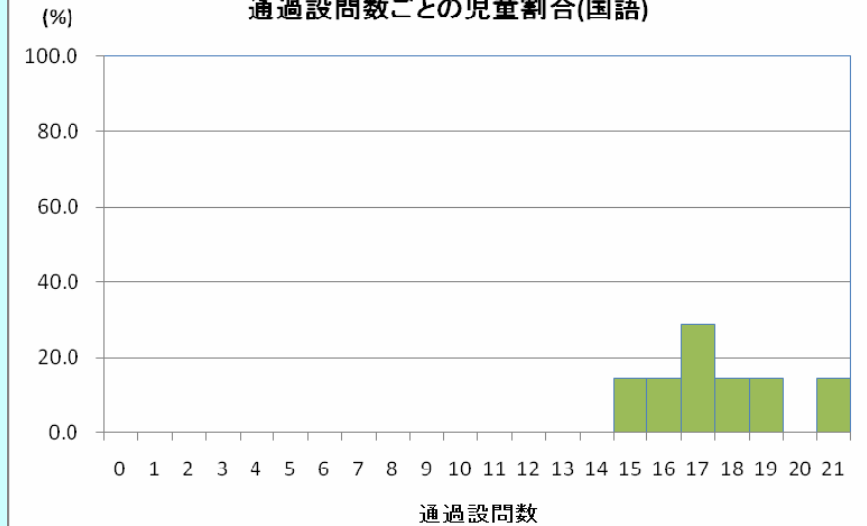
- ①日課表の見直しにより帯時間の確保をし、反復学習する。
  - ・文の構成や漢字・ローマ字に関する問題を反復練習し基礎的事項の徹底を図る。
- ②各教科の中で、資料をもとに自分の考えを論理的にまとめて書くことができるように指導していく。
  - ・モデルとなる「型」の提示
  - ・情報を収集したり、整理したりする言語活動の設定
- ③国語の授業における単元構成や学習活動の工夫を行い、より確かな読みの力をつける。
  - ・大まかに内容をとらえながら重要な段落、語、文などに着目しながら細部を読み取っていく「森を見て木を見る」読み
  - ・「比較・関係づける」活動の設定
- ④読書指導の充実

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 83.7 % 県平均 82.3 %

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・文と文の意味のつながりを考えながら、文章を正しく読む。(57.1%)
- ◎・・・文の中における主語と述語との関係に注意すること (14.3%)
- ◇・・・文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く。(21.4%)
- ◇・・・話し手が聞き手に問いかけることによる効果や、聞き手が話し手に問いかけられることによる効果について理解する。(21.4%)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①リライト教材やプリント学習などを行いながら、学年ごとに系統的に「言語事項」に関わる学習を行っていく。
- ②日常的な「話す・聞く」場面(授業の中、発表朝会など)で接続詞を意識して、論理的に表現することができるようにしていく。そのために、モデルとなる「型」を提示し、意識づけていく。
- ③読書指導の充実を図り、量と質を高める取り組みを進める。(読書貯金通帳、学年別必読書の設定)

来年度の目標値

- 通過率60%以上の児童を70%にする。
- 通過率30%以下の児童を0にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

### 昨年度の課題

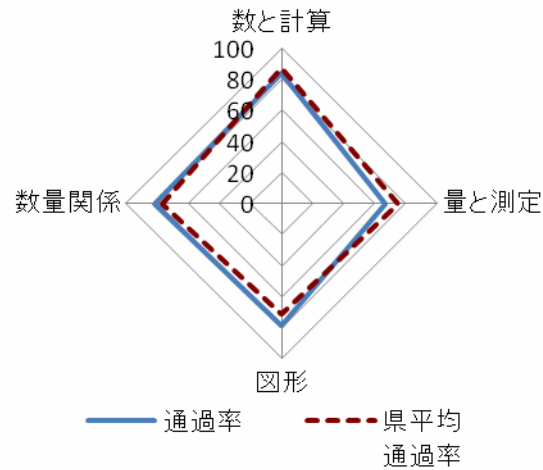
- 「数と計算」  
 ◎単位分数の幾つ分という表し方ができる (25%)  
 「量と測定」  
 ◎かさの単位 (m l), 面積の単位 (c m<sup>2</sup>) が分かる (33.3%, 25%)  
 ◇三角形の面積を求めることができる (46.7%)  
 ◇与えられた条件に合う時刻を選択できる (6.7%)  
 「図形」  
 ◇示された解決方法からそれにそった解決方法を記述できる (20.0%)  
 「数量関係」  
 ◎伴って変わる2つの数量の関係を見つけること, 見つけて立式することができる (41.7%, 41.7%)  
 ◇割合の大小を判断し, その理由を記述できる (6.7%)

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

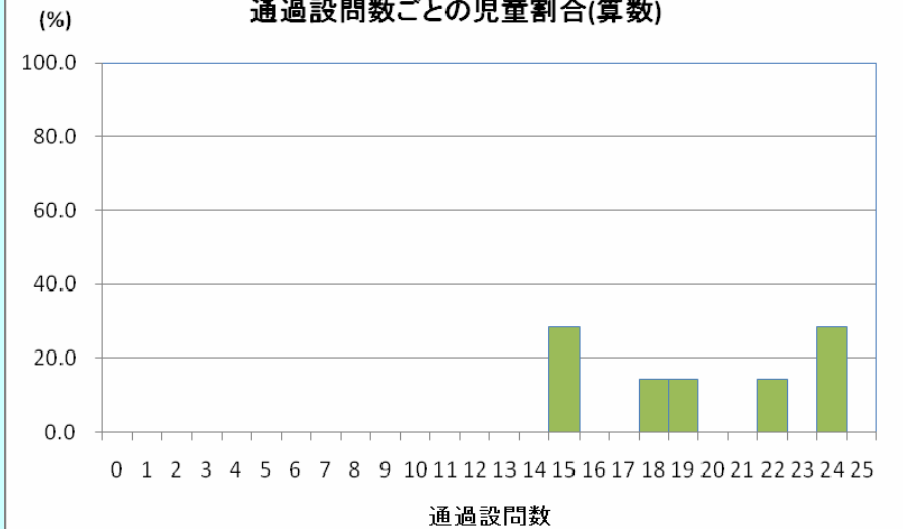
- ①日課表の見直しにより帯時間の確保をし, 反復学習を行う。
  - ・分数などの基礎的事項の理解の徹底
  - ・計算技能の習熟
- ②長さ・かさ・重さ・面積についての量感を育てるために, 具体物の大きさを調べたり, 確かめたりする等の算数的活動の充実を図る。
- ③数量の関係を表にしたり, 式に表したりする活動を充実させるとともに, それらを関連付けた指導を行う。
  - ・学年に応じた反復指導・練習を行う。
  - ・言葉, 数, 式, 図, グラフなどを用いて考えたり, 説明したり, 表現し伝え合ったりする学習活動を日常的に取り入れる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **78.3 %** 県平均 **79.0 %**

領域別平均通過率(算数)



通過設問数ごとの児童割合(算数)



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- 「数と計算」  
 ◎除法に関して成り立つ性質 (28.6%)  
 「量と測定」  
 ◎重さの比較 (42.9%)  
 「数量関係」  
 ◎伴って変わる2つの数量 (42.9%)  
 ◇割合 (42.9%)  
 ◇分数の意味と表し方 (21.4%)

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

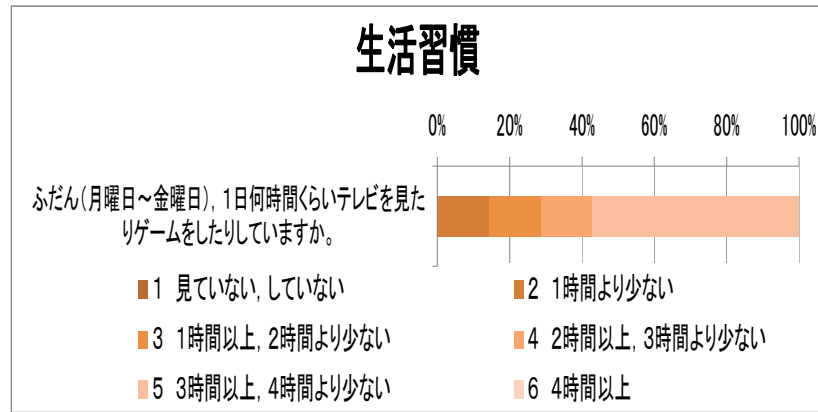
- ①四則計算を確実にさせる指導
  - ・学びタイムや家庭学習で計算練習をさせ, 習熟を図る。
- ②文章問題から数量関係を把握し, 立式・計算させる指導
  - ・分かっていることや求めることに線を引かせて問題文をとらえさせる。
  - ・線分図や表などで, 問題文にある数量の関係をまとめさせる。
- ③算数的活動を取り入れた指導
  - ・具体物や操作活動を取り入れて興味関心を持たせるとともに, 学習内容の定着を図る。

### 来年度の目標値

- 通過率70%以上の児童を70%にする。
- 通過率30%以下の児童を0にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

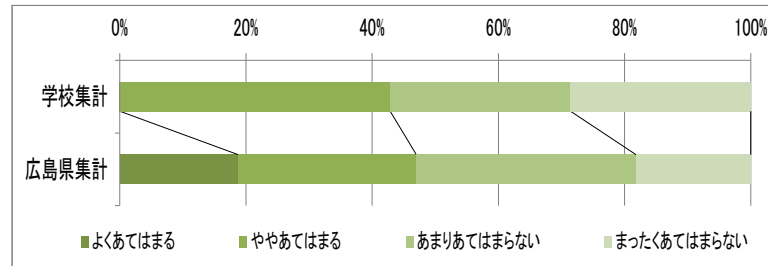


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎テレビ・ゲームの時間 平日休日とも 3時間以上 (57.1%) ◇テレビ・ビデオ・DVDの時間 平日 2時間以上3時間未満 (28.6%) 3時間以上4時間未満 (35.7%) 4時間以上 (7.1%) テレビゲームの時間 平日 2時間以上3時間未満 (14.3%) 3時間以上4時間未満 (21.4%) 4時間以上 (21.4%) ⇒テレビ・ゲームの時間短縮 ◎困った時や腹が立った時などに自分の気持ちを言葉で伝えることはできているが、なぜそうなるのか理由をつけて話すことができていない。(57.1%) ⇒コミュニケーション能力 ◎自分の良さを周りの人から認められていない (57.1%) ⇒自己肯定感	○家庭との連携を図り，テレビ・ゲームの時間を少なくし，学習時間を増やしていくように取り組んでいく。 ・生活実態調査表（家庭・学校の評価をする） ・自主学習の仕方の指導 ○人の話をしっかり聞き相手の思いを受け止め，自分の思いをはっきり言葉で伝えることができる力をつけていく。 ・日常的な指導（集中して聞く，聞いたことの確認，復唱，まとめて話す力，理由付け） ・言語技術の指導 ○一人ひとりの良さを認め合うよう取り組んでいく。 ・良さを見つけ評価する。（視覚的に表示，家庭との連携，全教職員による評価） ・帰りの会での振り返りによる肯定的評価

来年度の目標値	目標内容
	・生活リズムの習慣化を図る。(テレビ・ゲームの時間1日2時間未満 90%) ・しっかり聞き，自分の考えをはっきり伝える。

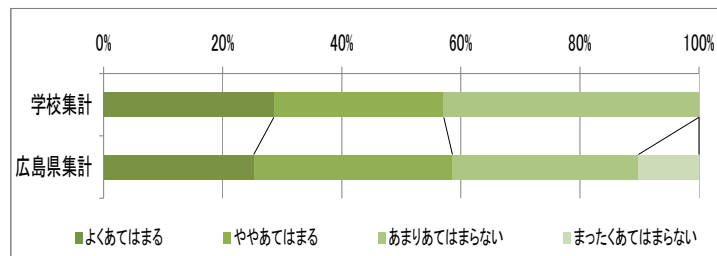
## (2) 教科

国語の授業では、メモをとりながら聞くことがあります。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」、◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	<p>◎・・・国語の授業では、メモをとりながら聞くことがあります。(肯定回答率昨年度 50.0%, 今年度 42.9%)</p> <p>◎・・・国語の授業では、漢字などのくり返し学習をする事が好きです。(肯定回答率昨年度 58.3%, 今年度 57.1%)</p> <p>◇・・・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。(肯定回答率昨年度 60%, 今年度 35.7%)</p> <p>◇・・・国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。(肯定回答率昨年度 53.3%, 今年度 35.7%)</p> <p>◎学校指導「接続語や指示語などの語句に着目させ、段落相互の関係を文章構成図に書くなどして文章を把握させる指導」 (あまりあてはまらない)</p> <p>⇒説明文指導においては、学年ごとに系統的な指導をするために、文章の接続語を洗い出した表を活用しながら文章構成を捉えさせるようにしてきたが、徹底できていなかった。徹底を図っていく。また、国語科の学習だけでなく、全教科・領域、日常のあらゆる場において、「結論先行型」で、一文を短く切り接続語でつないで話す・書く指導を行っていくことも必要である。</p>	<p>○くり返し学習の工夫を行う。 (学習方法を多様化させる, 児童の努力を評価する場の設定, 漢字学習の目標を持たせて評価していく)</p> <p>○「話す・聞く」学習場面(授業や発表朝会など)において、メモを取る活動を行う。また、それらの力を生かす場(社会見学など)をつくっていく。</p> <p>○「結論先行型」で根拠を挙げて自分の考えを述べたり書いたりする指導を行う。(「比較・関係づける」活動の設定)</p> <p>○文章を全体を読みながら、細部を読んでいく学習を行う。(接続語、段落相互の関係に気をつけながら読み取っていく。)</p>

算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



## 算数

◎算数の授業では、ともなって変わる2つの数や量の関係を探るときには、まず2つの数や量を順序よく表にあらわしています。(肯定回答率昨年度 66.7% 今年度 57.1%)

◎算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。(肯定回答率 50% 今年度 57.1%)

◇算数の勉強は好きですか。  
(肯定回答率 60% 今年度 57.1%)

◎学校指導「分かっていることや求めることが何かを考えながら問題を読ませるために、線分図や表などで、問題文にある数量の関係をまとめ表現させるなどの指導の工夫を行った。

(あまりあてはまらない)  
⇒解法を獲得させる授業は各学年で行ってきた。しかし、既習の解法を引き出しながら定着させていく系統的な指導や活用による定着を図ることができていない。絵、図、線分図、表など数量関係をとらえさせる解法を引き出しをもたせ、場に応じて開けるように指導の工夫をしていく必要がある。

○問題解決の手立てとして、絵や図表を使って問題を解くことができるように、低学年から問題解決学習を積み上げていく。

○自分の考え方や解き方の説明をしたり、算数日記(算数的用語を使った学習のまとめ、感想など)を書いたりすることにより、筋道立てて考える力と表現する力をつけていく。

### 来年度の目標値

- ・「国語の授業では、メモをとりながら聞くことがあります。」の肯定的回答率を65%以上にする。
- ・「算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。」の肯定的回答率を65%以上にする。



指導改善のための実施スケジュール

